

中間評価結果（平成19、20年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
19-2	津波による道路構造物の被害予測とその軽減策に関する研究	九州工業大学 教授 幸左 賢二	B
<p>< 研究の概要 ></p> <p>津波による道路構造物の被害を防ぐため、津波が道路構造物に及ぼす影響について、以下の手法を用いて検討するとともに、その軽減方策を確立する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) スマトラ沖地震による道路構造物の被害状況の分析 2) 津波再現水理実験および設計手法の確立 3) モデル地区を対象とした津波被害予測 <p>< 研究継続の妥当性評価 ></p> <p>研究の進捗状況は順調であり、研究成果が期待できることから現行のとおり推進することが妥当である。なお、軽減策として現実的なものとなる設計手法、補強工法の具体的提示につながるよう研究内容を検討すること。</p> <p>< 特記事項（今後の研究に対する意見・指摘事項等） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上揚力、および上揚力と水平力の組み合わせ時の生起確率を評価し、安全率が合理的に設定されるような評価方法の組み立てが必須である。 ・ 上揚力については、提案内容の妥当性について更なる検証が必要である。 ・ 標準的な種類の道路構造物に関して成果が期待できる。 			